

◆各取組内容の概要

【大賞】

○取組名

給油船新技術開発による給油作業中における労働災害防止への取組み、次世代船員・女性の就労支援、居住環境の向上

○受賞者名

MOL 商船三井テクノトレード株式会社

○取組の内容

- ・ 離着舷作業の効率化及び安全性向上のため、全旋回式ポンプジェットスラスター、自社新開発の特許取得した「STS（SHIP to SHIP）着舷補助装置」の導入。
- ・ 船内、陸上での監視強化でヒューマンエラーや事故防止のため、船内、荷役監視モニターの設置。
- ・ 船員人材確保、女性活用、感染症対策のため、居住区には徹底した振動・騒音・結露防止対策を施し、機能性に優れたデザイン居室を採用

【船舶概要】



船名：テクノエース
総トン数：348トン
給油船 700 KL 積み型
就航日：令和4年4月

【全旋回式ポンプジェットスラスター】



このポンプジェットスラスターは、トンネル型スラスターと違い、船底から海水を吸い込み、全旋回ノズルにより噴射方向を任意にコントロールする事が出来る為、潮流の変化が激しい沖でのバンカー時の操船性が安定し、喫水変化が大きい給油船でもすべての喫水域で使用可能であるため、バラスト張り込みによる時間を短縮出来る他、係船ロープ巻き込み事故を無くし、離着舷作業の安全性が向上する。

【STS (SHIP to SHIP) 着舷補助装置】

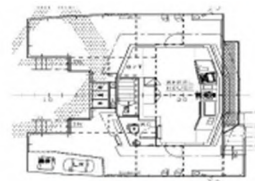


係船ロープの代わりに電磁石によって船体同士を吸着させる装置であり、本装置を使用する事によって通常の接舷させる係船ロープの本数を減らす事ができ、自動喫水調整（電磁石を任意時間により ON、OFF させる事）によって、常に喫水変化は調整され、通常、荷揚げで生じてくる喫水変化による乗組員の係船ロープ調整作業を減らす事ができる等、係船ロープが起因で発生する乗組員の災害事故が軽減される。

【船内、荷役監視モニター】



○操舵室



8角形の形をした船橋

○機関監視室



ライブ機能、録画機能を備えており、ライブ機能では、運航中の船長へ陸上社員（海技資格を有している者）より、リアルタイムの気象、海象等のアドバイスを提供するとともに、陸・海の双方から監視体制を強化することで、ヒューマンエラーの防止を図る。

また、録画機能を使つての作業中、接舷中などのヒヤリハットの検証、操船の教育等、幅広く教育のよる技術向上による事故防止に役立てる。

【船員食堂】



【事務室兼サロン】



食堂と別に事務室兼サロンを設け、乗組員のミーティング、休憩、荷役協定、教育の場として使用可能

【多目的室】



独立した浴室・トイレ付の船員室を設けており、女性船員の居室やウイルス感染者が発生した場合の一時隔離室としても使用可能。

(参考)

○受賞者概要

代表者 代表取締役社長 川越 美一

所在地 東京都千代田区

創 立 1948年6月11日